

「砥部ブランドマーク」制作委員会

第 2 回 報告書

日 時： 平成 28 年 8 月 22 日（月）19 時～21 時

場 所： 砥部町役場 2 階 大会議室

内 容： 問題発見のワークショップ

参加者： 制作委員 21 名（内砥部町職員 3 名）、ファシリテーター 2 名、ゲスト 2 名

次 第： 1. 開会（司会進行：総務課 越智）

2. 本日のテーマ

3. 問題発見のワークショップ

4. 発表

5. 閉会

■はじめに（事務局：総務課 越智摩奈美）

本日の予定

問題発見のワークショップを行った後、時間があれば問題解決のワークショップに進める。

班編成について

委員の業種、地域などを考慮して A・B・C に班分け。班ごとにワークショップを進める。

（班分けは別添名簿参照）

■本日のテーマについて（進行：ファシリテーター 山内敏功氏）

砥部ブランドマーク制作プロジェクトは、皆さんと共に作っていくプロジェクトです。そのためにはまず、今皆さんが住んでいる砥部にどういう問題があるのかを洗い出す必要があります。今日はそれを付箋に書きだして、「しあわせ感」「環境」「暮らし」「観光」「産業」「農業」「その他」に分類して模造紙に貼っていきます。砥部の問題点と良いところを上げてください。それぞれ職種や年齢、住んでいる地域によって日頃感じている問題点があるはず。僕は常々デザインは問題解決のソ

フトだと言っています。正しい問題の発見をしなければ、いい解決法は見つかりません。その問題を解決をする手段がデザインだと考えてください。それを見える化し、ひとつのシンボルを作るのが今回の委員会の目的です。ですから皆さんの力が8で僕の力が2ぐらいです。ここに住んでいる皆さんたちが日々の問題を取り上げてください。質問がなければさっそく始めてください。

■問題発見のワークショップ

A班、B班、C班（各班8名）に分かれて砥部の問題点を発見するワークショップを開始。KJ法で砥部の問題点、いいところを自由に書き出し、「しあわせ感」「環境」「暮らし」「観光」「産業」「農業」「その他」に分類し、班ごとに発表する。各班の発表内容は以下の通り。

これをもとに後日ファシリテーターが情報の整理・分析を行い、次回ワークショップで提示する。

※以下各班の付箋から重複を除いて分類。◆……問題点、♡……いいところ



1. 「しあわせ感」

【A班】（代表：篠原）

◆ワクワク感がない

◆意外と困っていない

♡地元愛が強い、地元が好きという人が多い

♡人が優しい、人が温かい、みかんは買わなくてももらえる、穏やかな人が多い

【B班】（代表：西岡）

♡人がいい、人情味があり非常に住みやすい街、中学生がすすんでボランティアをしてくれる、砥部の人たちは濃くて面白い

♡砥部に戻ってくる人が多い

【C班】（代表：谷口）

◆空き家が増えた

◆娯楽施設が少ない（映画館）

♡公共施設が中心にあってしっかりしている（安心感がある）



2. 「環境」

【A班】

- ◆幹線道路以外の道が狭い、公共交通機関が不便
- ◆遊ぶ場所がない、若者が集まるイベントがない
- ♡自然がたくさんある、ほどよく都会でほどよく田舎、市内より静かに暮らせる、静かで住みやすい、高い建物がない、仙波溪谷で飛び込みができる
- ♡今のところ災害が少ない



【B班】

- ◆アクセスが悪い・不便、公共交通の便が悪い・便が少ない、役場・ゆとり公園にバスが停まらない、バス代が高い、ループバス・100円バスがない、巡回バスがあると回りやすい（町では難しいので伊予鉄さんをお願い）
- ◆標識が少ない、空き家が多い
- ◆小中高校生の居場所がない、小学生が遊べる場所が少ない（制限がある）、整備された公園がない
- ♡どんどん道路がよくなっている
- ♡ほたるを近所で見ることができる

【C班】

- ◆山しかない、景色のほとんどが山、南北に長く東西に狭い、坂が多い、住宅団地など坂の上にあって不便
- ◆交通の便が悪い（交通機関が少ない）、バスの便数が少ない、料金が安い、JRの最寄り駅が遠い、道が狭い→老人や子どもにやさしくない、車がないと不便（生活が難しい）
- ◆夏は暑く冬は寒い、虫が大きい
- ◆あかりが少ない
- ♡災害が少なく穏やかな気候（水源もある）、比較的静か
- ♡豊かな自然、雪が積もる、空が見やすい
- ♡松山市に近い、インターに近い

3. 「暮らし」（福祉・教育）

【A班】

- ◆住宅だらけ、近所つきあいが少ない、町民がふれあえる機会が少ない

- ◆食べる場所が少ない、買い物に不便、昔より店が減ってきた、カフェなど休憩する場所が少ない、大型ショッピングモールがない
- ◆若者の人口流出、働き手不足、自治力不足、ベッドタウンの方向性に疑問
- ◆砥部高校（進学校）がない
- ♡子育ての環境支援が充実、子どもたちが元気で素直
- ♡福祉（デイサービス、ケアマネ）の充実、不便だけど住みやすいと思う

【B班】

- ◆若者が少ない、広田に子どもが少ない、広田から砥部へ人が出ていく
- ◆砥部宮内・広田にスーパーがない、マクド・モス・吉牛などファストフード店がない
- ◆育児環境が整っていない、乳幼児を預ける所がない、保育所に入れない、保育士が足りない
- ◆児童館の老朽化、専門の施設（発達・療育）がない
- ◆人が集まる機会が少ない、人が集まる商業施設がない



- ♡年間を通して町のスポーツ大会があり大勢の人が参加していてすごい（他ではあまり見ない）
- ♡お年寄りが元気
- ♡土地の価格が低い

【C班】

- ◆古い建物ばかり
- ◆食べる場所（飲食店）が少ない、居酒屋が少ない、エミフルのようなショッピングモールがない、ちょっと出かけよう・買い物しようができない、お店（種類も）が少ない
- ◆商店街や産直市に活気がない、産直市が遠い（近くても重信のダイキ、伊予市のいよっくら）→歩いて新鮮なものを買に行きたい
- ◆福祉の総合窓口がない
- ◆家賃が高い
- ♡スポーツが盛ん、運動する場・機会・仲間がいる、文化・生涯学習の場が多い
- ♡学校はバランスよくある

4. 「観光」

【A班】

- ◆観光目玉がない、周遊型の観光になればより良い、砥部の良さを利用した施設がない、バンジージャンプ的なものがない
- ◆道の駅がさびしい
- ◆宿泊場所が少ない・知られていない、農家・砥部焼等の民宿が少ない
- ◆観光施設に駐車場が少なく観光誘致が難しい
- ◆全国発信が下手、PR下手？
- ♡とべ動物園がある

【B班】

- ◆砥部焼に頼りすぎている、名物グルメがない
- ◆道の駅がしょぼい、旧砥部に道の駅がない
- ◆宿泊施設がない、少ない
- ◆せっかく県の施設（とべ動物園やこどもの城）が近くあるのに砥部まで一歩足を伸ばしてほしい
- ◆外国人対応のための外国語表記がない（英語・中国語はほしい）
- ♡自然が多い、県立動物園がある

【C班】

- ◆施設はいいものがあるがまとまりがない
- ◆景観がバラバラ、古いものの良さを生かしきれていない
- ◆看板が分かりにくい、観光案内所がない、砥部焼施設に行きにくい（施設が受け身でPRが弱い）、情報が伝わらない（イベント等）
- ♡とべ動物園、運動公園、こどもの城がある
- ♡サイクリングスポットがある

5. 「産業」

【A班】

- ◆砥部焼の売上低迷
- ◆いろいろな産業同士のつながりがなく、やる気のある実践者が協働できていない、事業の取引先が町外に多い、継承下手、若者の職場が少ない



- ◆B級グルメがない、ソウルフードがほしい
- ◆メインの大南商店街がさびしい（店が閉まっている）
- ◆砥部焼の定義が非常にあいまい、砥部焼は食べ物ですかと聞かれることがある
- ◆砥部焼の名前が一人歩きで地域についての認識が薄い、砥部焼以外の事業が目立っていない
- ♡砥部焼は全国にPRでき、愛媛でもうらやましがられる宝物、砥部焼は必ず家にある

【B班】

- ◆砥部焼の定義がいまいちはっきりしていない、砥部焼が商標登録されていない（有田のように中国にやられますよ……）
- ◆広田に働く場所が少ない
- ♡近年県外にもアピールの機会が増えてきている（もっともっと伸ばしてほしい）
- ♡国の伝統的工芸品「砥部焼」がある

【C班】

- ◆砥部焼のイメージが高い・重い、買えるところが限られている、砥部焼の販売店が減っている
- ◆砥部焼に依存しすぎている、砥部焼ばかりがクローズアップされて他の産業が埋もれている
- ◆地域資材を生かした企業が少ない、加工場や加工者が少ない（6次産業や商店）、特産品が少ない
- ◆補助金等が少ない→産業・農業の未発達
- ◆砥部（地域自体）の知名度が低い
- ♡砥部焼がある、砥部焼のオブジェが街にあふれている
- ♡砥部焼の良さを県民に知ってほしい→使ってみてすごくいいと思った、重くて高いけど買う価値がある→若い人にもお気に入りを1つ持ってほしい

6. 「農業」

【A班】

- ◆特産品の生産量が少なく全国に広められない（七折小梅、自然薯等）、特産品のアピールが少ない
- ◆猪と猿（♡でもある）
- ♡野菜などよく育つ、食べるのには困らない

【B班】

- ◆後継者不足
- ◆土地が限られている
- ♡松山市場では広田の野菜は評価◎
- ♡無人販売所、地産地消がよい



【C班】

- ◆耕作放棄地（樹園地）が増えた
- ◆七折小梅が近年不作
- ♡多品種の作物がとれる（梅・キウイ・ブルーベリー・みかん・キャベツ・しいたけ・自然薯等）
- ♡柑橘の種類が多い、紅まどんなの産地
- ♡七折小梅が有名

7. 「その他」

【A班】

- ◆合併した感じがしない（松山市と合併すべきでは）、町民が町内のことを知らない、砥部の奥のほうはよく分からない、砥部（とべ）と書けない・読めない
- ◆地味、ふるさと納税の目玉がない、現役のスターがいない
- ◆新たなチャレンジやムダを追求する努力が必要、必要最低限の取り組みになっていないか
- ♡詩人（ソフト）真民
- ♡砥石の歴史
- ♡年間を通してイベントや花など紹介できるものがある

【B班】

- ◆広田と砥部で対立感がある（お年寄りに）、広田の知名度がない
- ◆町外へのアピールが少ない（独自の事業などいいところもたくさんあるのに知られていない）
- ◆自治会が高齢化
- ◆デザイン力が弱い

【C班】

- ◆保守的
- ◆夏祭りなど世話役が居らず縮小傾向
- ◆高齢者が多い、年齢層が偏っている



■感想とまとめ (ファシリテーター 山内敏功氏)

何か見えなかったことがだんだん見えてきました。大事なことは、住民の皆さんが内側から見る目と外側から見る目を持つこと。何かを考えるとき、自分が人の立場に立ってみるとものが見えてきます。今日皆さんの話を聞いていて自分の中で一つヒントが見つかりました。ヒントは「遊び」です。今いろんな人が遊びを忘れています。真面目に遊びを考えてみる。たとえば遊びを競う(スポーツ)、遊びを模倣する(芝居)、偶然を楽しむ(賭け事)、めまいを楽しむ(感動)。これらが近代までの遊びです。文化の前にまず遊びがあった。その遊びをどう組み立てていくか。最近出てきたのが、つくるを楽しむ(創作)です。そう考えると砥部にはこれらがほぼあると思いませんか。この概念の中に砥部を当てはめていくと面白いことができるのではないかと思います。次回これをヒントに解決策を出し合ってみましょう。何かいい結果が見えてくるのではないかと思います。



(以上)